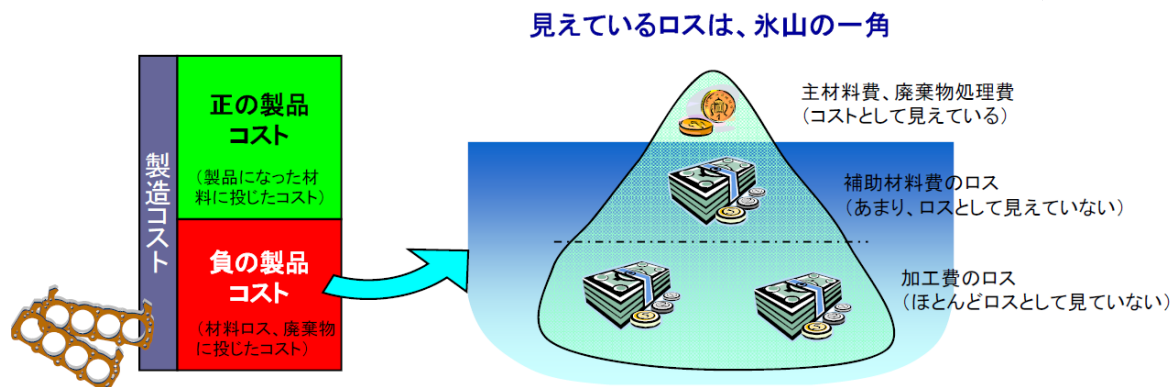


MFC A (マテリアルフローコスト会計) 導入事例のご紹介

環境・情報技術部門

工業技術総合センターでは、製造工程のあらゆる無駄をコストとして評価する環境管理会計手法(MFC A:マテリアルフローコスト会計)の導入を支援しています。MFC Aの外部専門家と職員で構成するプロジェクトチームを平成21年度から県内中小企業へ派遣(環境対応型ものづくり収益向上普及事業)し、ものづくりにおける省資源・省エネ化とコストダウンの両立を目指しています。

■ MFC Aとは・・・製造工程に潜む「隠れたロスを見る化」する道具です。



出典：(株)日本能率協会コンサルティングホームページ

■ 導入事例1 (株)サンクゼール(飯綱町)

ジャム製造ライン工程にMFC Aを適用し、工場から直営店への輸送用ダンボールの量とコスト、加熱用の蒸気配管からの熱損失、材料保存用冷蔵コンテナの電力使用量が明らかになりました。MFC A分析結果から検討した改善として、従来のダンボールから簡易包装への切替を計画しており、廃棄物低減と月57万円程度の経費削減が期待されます。また、露出の蒸気配管を保温する省エネ改善で、年16万円程度の燃料節約を見込んでいます。

■ 導入事例2 (株)スワラクノス(茅野市)

自動車ブレーキ部品の製造工程にMFC Aを適用した結果、切削工程から発生する刃物の廃棄コストが大きいことがわかりました。作業工程の改善と刃物選定により、刃物廃棄物の20%削減とコストダウンにつながりました。さらに、これまで手付かずだった切削後の切り粉を吹き飛ばすため圧縮空気の流量を測定し、会社全体の使用方法等を改善しました。合わせて年50万円程度のコストダウンが実現しました。

■ 導入事例3 (株)駒ヶ根電化(駒ヶ根市)

全自動電気めっき工程にMFC Aを適用し、明らかとなった地下水の使用効率、灯油の燃焼効率、めっき液中の電流効率等に目し、改善に取り組みました。その結果、光熱水費や薬液費の削減が可能となり環境負荷の低減と月50万円程度の経費削減の両立を達成しました。この取り組みで同社は環境効率アワード2010(後援:経済産業省等)において日本を代表する大企業とともに表彰されました。



(株)駒ヶ根電化の受賞の様子

長野県工業技術総合センター
環境・情報技術部門
環境技術部 花岡健一
TEL: 0263-25-0997 FAX: 0263-26-5350
E-Mail: kankyojoho@pref.nagano.lg.jp